

会報 110 号 2026 年 10 月 10 日

2026 年秋季大会が 2026 年 9 月 12 日（土)、専修大学・神田キャンパスにて実施されました。20 本の一般研究発表とシンポジウム「フーコー生誕 100 年――新たなコーパスとフーコー研究の現在からみるフーコーの哲学の可能性」が滞りなく行われ、充実した研究交流の時間をもつことができました。会員のみなさまのご協力に感謝いたします。

総会での審議・報告事項について

1）2025 年度決算、2026 年度予算について、総会で承認されました。

2）2025 年度事業報告がなされ、2026 年度事業計画が示されて、承認されました。すでに行われた事業については、日仏哲学会のウェブサイトをご覧下さい。

3）機関誌について、31 号が刊行されることが編集委員長から報告されました。J-Stage と学会ウェブサイトで 11 月に公開されます。紙版の印刷はごく少部数にとどめ、頒価は 3000 円です。

4）2025 年度 日仏哲学会若手研究者奨励賞が、山根秀介氏（論文「シャルル・ルヌヴィエの自由意志論ついて）に授与され、表彰式が行われました。

機関誌への公募論文の投稿について

機関誌『フランス思想・哲学研究』次号に公募論文を応募される方は、本年 12 月 1 日から同月 31 日（JST）までに 、学会公式ホームページ内の公募論文投稿フォームから完成原稿をお送り下さい。（投稿規程は学会ウェブサイトからもご覧いただけます。）

『フランス哲学・思想研究』公募論文応募規程

1）テーマ：フランス哲学・思想に関するもの、日仏両哲学界の交流に寄与するもの。

2）応募資格：日仏哲学会会員（ただし機関誌最新号に公募論文が掲載された者は次号には応募できない。また、投稿時の会計年度を含めた会費を納入済みであること。）

3）応募原稿の形式：完全原稿の電子ファイル（Microsoft Word 2013 以降のバージョンで作成したもの、それ以外の場合は要相談)。論文は、和文・仏文を問わず、1 行全角 43 字（半角 86 字）かつ 1 頁 36 行の設定で横書きし、タイトル、注、図表、空白の行を含めて 369 行以内に収めること。注は、本文の該当

箇所に通し番号 1)、2)、……をつけ、脚注ではなく文末脚注として本文の後に置くこと。和文・仏文いずれの場合も仏語レジュメ（上記設定でタイトルを含め 11 行以内）を本文以降に、ページを改めて付すこと。

４）原稿作成上の注意：欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。仏語レジュメは、ネイティブ・チェックを受けるなど、著者が責任をもって点検を済ませておくこと。論文と仏語レジュメには、氏名と所属、ならびに関係者/団体への謝辞をいっさい記載しないこと。自著を参照する場合も、著者名や三人称を用いて他の文献と同様の形式で参照し、自著であることを仄めかすような記述を避けること。

５）応募期間：当該年度の 12 月 1 日～31 日（JST）。

６）投稿方法：学会公式ホームページ内の公募論文投稿フォームから提出。

７）審査：掲載の可否は、二重匿名査読ののち、編集委員会で審議・決定し、理事会における承認を経て通知する。

８）掲載決定の場合、応募者は編集委員長によって指示された期日までに、掲載用原稿（本文・仏語レジュメ）の電子ファイル（Microsoft Word 2013 以降のバージョンで作成したもの、それ以外の場合は要相談）を電子メールに添付して編集委員長宛に提出すること。なお、本文は、タイトル、注、図表、空白の行だけでなく、査読のために除去した氏名、自著についての情報、また、謝辞なども含めて 370 行以内に収まるように修正すること。仏語レジュメは、査読のために除去した氏名を含めて 12 行以内に収まるように修正すること。

書評対象作の推薦について

編集委員会では、書評対象作選定の基準を次のように定めています。

・書評対象として、直近の会費納付済み会員が前年に出版した著作を取り上げる。

・書評対象作は、編集委員会で決定する。

・書評対象として、前年に発行された著作を取り上げるが、それ以前の著作でも漏れていたものを取り上げることは可とする。

・会員によるものであっても翻訳書は原則対象外とする。

・書評対象作のリストアップのため、会員より自薦・他薦を受け付ける。（自薦の場合は、 著書を編集委員長宛に送付することが望ましい。住所は、機関誌の奥付に記載。）

これに伴い、書評対象作の推薦を受け付けます。締切は 2026 年 12 月 31 日（JST）、編集委員長までご連絡下さい（E-mail : redaction.sfjp@gmail.com）。

2027 年春季研究大会への一般研究発表の応募について

2027 年春季研究大会は 2027 年 3 月 20 日（土）、富山大学・五福キャンパスにて開催される予定です（シンポジウム「シモーヌ・ヴェイユを読み直す」）。一般研究発表は対面での開催です。

発表希望者は 2026 年 12 月 31 日（JST）までに、発表要旨（日本語の場合は 1200 字以内、フランス語の場合は 300 mots 以内）を学会ウェブサイトの応募フォームから記入して下さい。発表時間は 25 分

で、15 分の質疑応答付きです。採否は 1 月末日（JST）までに決定いたします。

なお、2027 年秋季研究大会は慶應義塾大学（三田キャンパス）にて、2027 年 9 月 11 日（土）に開催される予定です。シンポジウムは「フランス哲学とハイデガー――『存在と時間』刊行 100 周年を機に」（仮）です。発表希望者は、2027 年 6 月 30 日（JST）までに応募して下さい。

会員の皆様へのお知らせとお願い

1）会費納入のお願い

基本的に会員からの会費納入によって本学会の運営は成立しています。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費（4000 円）を納入して下さいますよう、改めてお願い申し上げます。当学会の会計年度は 9 月開始となりますので、その点もご承知おき下さい。

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046　　加入者名：日仏哲学会

※ゆうちょ銀行以外の金融機関からのお振込みは、以下をご参照ください。

銀行名：ゆうちょ銀行　　金融機関コード：9900　　店番：019

預金種目：当座　　店名：〇一九店　　口座番号：0194046

2）メールアドレスご登録のお願い

機関誌電子化にともない、「会報」はすべてメールでの配布となっています。会報は学会ウェブサイトでも随時閲覧可能です。まだメールアドレスを登録していない方は、下記事務局までご一報下さい。

【日仏哲学会事務局】

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

東京都立大学 人文科学研究科 西山雄二研究室内

メール：secretariat.sfjp@gmail.com

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会